

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	商業簿記2（Commercial Bookkeeping 2） 392104-14600					担当教員	中村 大輔 （ナカムラ ダイスケ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
1年次配当の簿記入門では商品売買業における基本的な簿記を学んだ。商業簿記1（商業簿記2、工業簿記1・2）では商品売買業やサービス業、そして製造業における簿記を学ぶ。日商簿記2級は商業簿記と工業簿記に大別されるが、本講義は商業簿記について特に連結財務諸表に焦点を当てて学ぶ。日商簿記2級対応科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業時間が限られているため、予習・復習が特に重要となる。検定試験合格のためにも、予習・復習を欠かさないこと。授業前に配布するレジュメファイルを各自印刷し、予習すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
商業簿記2、工業簿記1・2と共に履修することが必要である。これらの科目とともに学ぶ事で製造業を含めた簿記を体系的に理解できるようになる。特に商業簿記1を履修（学習）していない学生は理解できないため、商業簿記1の履修は特に必要である。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 個別精算表、個別財務諸表が作成できる。 (ii) 連結精算表および連結財務諸表の作成ができる。 (iii)									
⑥ テキスト（教科書）									
滝澤ななみ(2020)『簿記の教科書 日商2級 商業簿記（第9版）』TAC出版 滝澤ななみ(2020)『簿記の問題集 日商2級 商業簿記（第9版）』TAC出版 (いずれも改定版が出版された場合は最新版を使用する。)									
⑦ 参考図書・指定図書									
各年度に対応した過去問題集、予想問題集等。必要に応じて紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 個別精算表、個別財務諸表が作成できる。	40%	10%						50%
(ii) 連結精算表および連結財務諸表の作成ができる。	40%	10%						50%
(iii)								
フィードバックの方法	課題や授業中のテストは採点して返却・解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
早い段階から検定レベルの問題に触れるようにして、早期の合格を目指す授業にしたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・税効果会計	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。商業簿記1で学修した課税所得の算定方法を復習し、どういった場合に繰延税金資産・負債が計上されるのかを理解する。	90分
2	帳簿の締切り	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。教科書の基本問題が解けるようにしておくこと。本問を解くためには前期の範囲の理解が必須である。	90分
3	本支店間の取引	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。支店独立会計制度における本支店間の取引について理解する。	90分
4	本支店合併財務諸表の作成	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書の基本問題を解けるようにしておくこと。	90分
5	連結財務諸表とは	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読み、連結財務諸表とその作成の基礎について全体像を理解しておく。	90分

6	支配獲得日の連結	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。投資と資本の相殺消去の仕訳を理解しておく。	90分
7	支配獲得日後1年目・2年目の連結	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。また、教科書の「参考」にあるタイムテーブルを使った開始仕訳の処理方法を理解しておく。	120分
8	内部取引高と債権債務の相殺消去	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。特にダウンストリームとアップストリームにおける処理方法の違いなど、パターンの暗記ではなく本質が理解できるようにしておくこと。	90分
9	連結精算表とは	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書を読みレジュメを完成させる。特に連結精算表と連結財務諸表の関係をよく理解しておくこと。	90分
10	連結精算表の解き方	教科書、問題集、レジュメ、電卓	教科書をもとに、連結精算表を完成させるまでの一連の手順を理解しておくこと。	90分
11	連結財務諸表の作り方	教科書、問題集、レジュメ、電卓	連結精算表を完成させるまでの手続を確認し、教科書の基本問題が解けるようにしておくこと。	90分
12	第1問対策問題演習	教科書、問題集、レジュメ、電卓	商業簿記1の範囲も含め、全ての仕訳について教科書別冊の「SIWAKE-195」の内容を理解しておくこと。	90分
13	第2問対策問題演習	教科書、問題集、レジュメ、電卓	特に、商品売買、固定資産、有価証券について一連の流れを理解しておくこと。また、株主資本等変動計算書についても記入方法を理解しておくこと。	90分
14	第3問対策問題演習	教科書、問題集、レジュメ、電卓	第3問は商業簿記1および2の全ての集大成である。全ての範囲について本質的に理解しているかどうか確認しておくこと。	90分
15	まとめ	教科書、問題集、レジュメ、電卓	商業簿記1の範囲も含め、全ての内容について疑問点等を挙げておくこと。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性